

呼吸・意識がないときは「窒息」を疑いましょう

1歳未満の事故による死因で一番多いのが「窒息」です。主な原因は寝具による鼻口部の圧迫と吐物の吸引です。乳幼児は異物や食べ物による窒息が多くなります。

！ 大切なポイント&アドバイス

窒息のサイン

- 突然せき込みゲーゲーする
- のどを押さえて苦しがる
- のどからヒューヒューと音がする
- 顔色がみるみる青くなる



Point 手当の手順&ポイント

- ① 意識がない場合→救命の手当(→P9)を行います
- ② 意識がある場合→異物を吐かせましょう
 - 咳をさせて異物がでてくるか試します。
 - (乳・幼児)自分の腕または膝の上に子どもをうつぶせにし、頭を下げて、背中の中を手のひらや、つけ根部分で強くたたきます。
 - (学童)背後から抱きかかえるようにして、おへそのすぐ上をすばやく手前上側に圧迫するように突き上げます。

窒息時に子どもを吐かせる方法



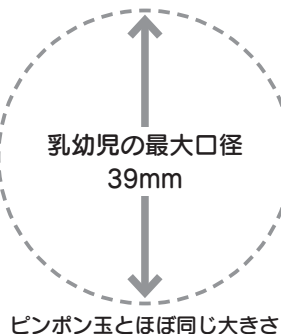
背部叩打法

背部叩打法変法

ハイムリッヒ法

！！ 注意すること

この円の中に入る物は赤ちゃんの口に入ります



ピンポン玉とほぼ同じ大きさ



のどに詰ませやすい物

→径39ミリ以下の物は、1メートル以上の高さのところに置きましょう。



コイン



のどに詰ませやすい食べ物

→食べ物を小さくする、すりつぶす、やわらかくするなどの工夫をしましょう。

